



Hewlett Packard
Enterprise

HPE Rapid Setup Software Installation and Configuration Guide

Abstract

Configuring and installing an operating system with HPE Rapid Setup Software.

Part Number: P09952-001
Published: October 2018
Edition: 1

ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外の情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

商標

ClearCenter、ClearOS、ClearVM は、米国およびその他の国における ClearCenter Inc. の登録商標または商標です。

Microsoft[®] および Windows[®] は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Adobe[®] および Acrobat[®] は、米国 Adobe Systems Incorporated の登録商標です。

UNIX[®] は、The Open Group の登録商標です。

VMware[®] は、VMware, Inc. の米国および各国での登録商標または商標です。

Contents

HPE Rapid Setup Software について	5
サポートされているサーバー.....	5
サポートされているオペレーティングシステム.....	5
RAID 構成の概要	6
単純な RAID アレイを手動で作成する.....	7
高度な RAID アレイを手動で作成する.....	8
RAID アレイについて.....	8
RAID 0.....	9
RAID 1 および RAID 1+0 (RAID 10)	9
RAID 5.....	10
専用スペア.....	11
障害スペアのアクティベーション.....	11
メインメニューの使用	12
オペレーティングシステムのインストール.....	12
BIOS 構成 (RBSU) ユーティリティを使用する.....	12
Intelligent Provisioning について.....	13
ハードウェア検証ツールについて.....	14
ハードウェア検証ツール(HVT)を使用する.....	14
ソフトウェアおよびファームウェアの更新	15
Service Pack for ProLiant.....	15
SPP のダウンロード.....	15
Smart Update Manager.....	15
Troubleshooting	17
USB のオペレーティングシステムを読み取れない.....	17
Web サイト	18
HPE のサポートと他のリソース	19
サポートと他のリソース.....	19
Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス.....	19
アップデートへのアクセス.....	19
カスタマーセルフリペア (CSR)	20
リモートサポート (HPE 通報サービス)	20
保証情報.....	20
規定に関する情報.....	21
ドキュメントに関するご意見、ご指摘.....	21
ClearOS および ClearVM のサポートと他のリソース	22

ClearCARE テクニカルサポート	22
ClearCenter 連絡先情報	22
ClearOS コミュニティフォーラム	22
ClearOS ドキュメントの web サイト	23

HPE Rapid Setup Software について

HPE Rapid Setup Software を使用すると、高速でシンプルかつ簡単に以下を実行できます。

- ・ Windows および VMware のサポートされているバージョンのオペレーティングシステムドライバーをインストールする
- ・ 他のメディアソースなしで ClearOS または ClearVM をインストールする
- ・ HPE ProLiant サーバーにサーバーオペレーティングシステムおよび仮想化ソフトウェアをインストールする
- ・ システムの RAID を構成する
- ・ BIOS 設定を管理する

注記: HPE Rapid Setup Software は、RedHat または SUSE Linux オペレーティングシステムのインストールをサポートしていません。

サポートされているサーバー

HPE Rapid Setup Software は、以下の HPE サーバーをサポートしています。

- ・ HPE ProLiant MicroServer Gen10
- ・ HPE ProLiant ML30 Gen10
- ・ HPE ProLiant ML110 Gen10
- ・ HPE ProLiant ML350 Gen10
- ・ HPE ProLiant DL20 Gen10
- ・ HPE ProLiant DL325 Gen10
- ・ HPE ProLiant DL360 Gen10
- ・ HPE ProLiant DL380 Gen10
- ・ HPE ProLiant DL385 Gen10
- ・ HPE ProLiant DL560 Gen10
- ・ HPE ProLiant DL20 Gen9
- ・ HPE ProLiant ML30 Gen9

注記: HPE Rapid Setup Software は、HPE Smart アレイ SR Gen10 コントローラーで使用する場合にサポートされます。HPE Smart アレイ MR Gen10 コントローラーはサポートされていません。

サポートされているオペレーティングシステム

HPE Rapid Setup Software は、サーバーでサポートされているオペレーティングシステムをインストールできます。各サーバーでサポートされているオペレーティングシステムについては、<http://www.hpe.com/servers/ossupport> を参照してください。

HPE Rapid Setup Software は、RedHat または SUSE Linux オペレーティングシステムのインストールをサポートしていません。サポートされている Linux オペレーティングシステムをインストールする場合は、Intelligent Provisioning を使用します。

RAID 構成の概要

サーバーを USB キーから起動すると、HPE Rapid Setup Software から RAID 設定を選択するよう求めるメッセージが表示されます。

手順

1. HPE Rapid Setup Software の USB キーを挿入し、サーバーの電源を入れます。

注記: HPE Rapid Setup Software の USB キーがプリインストールされているサーバーもあります。

2. メッセージが表示されたら、F11 キーを押し、ブートメニューから **Boot from Generic USB** を選択します。

USB キーに組み込まれている HPE Rapid Setup Software が起動します。

注記: HPE Rapid Setup Software がプリインストールされている場合は、USB キーでサーバーが自動的に起動します。

3. メッセージが表示されたら、EULA を読んで同意し、操作を続けます。
システムの RAID アレイ情報とハードウェアがスキャンされます。
4. HPE Rapid Setup Software から RAID ステータスが提供されます。オプションは構成によって異なります。次のいずれかを実行します。

シナリオの説明	オプション
自動 RAID 構成をサポートしていない RAID ドライバーとストレージデバイスがサーバーに含まれています	・ 新しい RAID アレイを構成するには、 手動設定 をクリックします
ハードウェア RAID がインストール済みというメッセージが表示されます	・ 続けてメインメニューに移動するには、 続行 をクリックします
自動 RAID 構成をサポートしている RAID ドライバーとストレージデバイスがサーバーに含まれています	・ 新しい RAID アレイを構成するには、 手動設定 をクリックします
ハードウェア RAID がインストール済みというメッセージが表示されます	・ HPE Rapid Setup Software で RAID アレイの構成を許可するには、 続行 をクリックします

表は続く

シナリオの説明	オプション
<p>サーバーで RAID アレイが構成されています 論理ドライブが存在というメッセージが表示されます</p> <p>注記: サーバーですでに RAID アレイが構成されている場合は、新しい RAID アレイを構成するとデータが失われることがあります</p>	<ul style="list-style-type: none"> 新しい RAID を構成するには、手動設定 をクリックします 続けてメインメニューに移動するには、続行 をクリックします
<p>サポートされている RAID ドライバーまたはストレージデバイスがサーバーで検出されません ディスクが見つかりません。というメッセージが表示されます</p>	<ul style="list-style-type: none"> オペレーティングシステムをインストールするには、使用可能なディスクを選択して続行 をクリックします。OS をインストールするドライブを選択し、画面の指示に従って操作します メインメニューに移動するには、スキップ をクリックします

HPE Rapid Setup Software によって、Intelligent ストレージ構成画面または HPE Rapid Setup Software のメイン画面が開きます。

注記: HPE Rapid Setup Software では、Intelligent Storage Configuration を使用して Marvell RAID ドライバー搭載の HPE ProLiant Gen9 システムまたは Gen10 Microservers で RAID アレイを構成することはサポートしていません。

詳しくは

[メインメニューの使用\(12 ページ\)](#)

[RAID アレイについて\(8 ページ\)](#)

[単純な RAID アレイを手動で作成する\(7 ページ\)](#)

[高度な RAID アレイを手動で作成する\(8 ページ\)](#)

単純な RAID アレイを手動で作成する

手順

- Intelligent ストレージ構成画面のメインページで、**アレイの作成** をクリックします。
- 構成モード** で、**シンプル** が選択されていることを確認します。
- 論理ドライブタイプ** を選択します (**SAS HDD** など)。
- RAID アレイに追加する **ドライブ数** を選択し、**次へ** をクリックします。
- 論理ドライブ名** を入力します。
- RAID モード** を選択します。たとえば、RAID 1 や RAID 5 などです。
- (オプション) 各ドライブの **最小サイズ** を選択します。
- RAID アクセラレータの種類を選択し、**次へ** をクリックします。
- アレイ設定を確認します。
- 送信** をクリックします。

詳しくは

[RAID アレイについて\(8 ページ\)](#)

高度な RAID アレイを手動で作成する

手順

1. Intelligent ストレージ構成画面のメインページで、**アレイの作成**をクリックします。
2. **構成モード**で、スライダーをクリックして**アドバンスト**を選択します。
3. RAID アレイに含めるドライブを選択し、ドライブの使用法を選択します。
4. **次へ**をクリックします。
5. **論理ドライブ名**を入力します。
6. **RAID モード**を選択します。たとえば、RAID 1 や RAID 5 などです。
7. (オプション) **ストライプサイズ**を選択します。
8. **アクセラレーター**を選択します。たとえば、キャッシュなどです。
9. (オプション) **RAID サイズ(GB)**を選択します。
10. **スペアの再構築モード**を選択します。
11. **送信**をクリックします。

詳しくは

[RAID アレイについて\(8 ページ\)](#)

RAID アレイについて

RAID アレイは、システムパフォーマンスの向上とドライブ障害のリスク軽減に役立ちます。さまざまな仕様のドライブを持つ RAID アレイを作成できますが、パフォーマンスは最も小さいドライブまたは最も遅い速度に依存します。たとえば、1 TB のドライブと 2 TB のドライブを持つアレイを作成した場合、そのアレイは最大 1 TB のデータを保存できます。大きいほうのドライブの追加のストレージは、そのドライブを再フォーマットするまで使用できません。

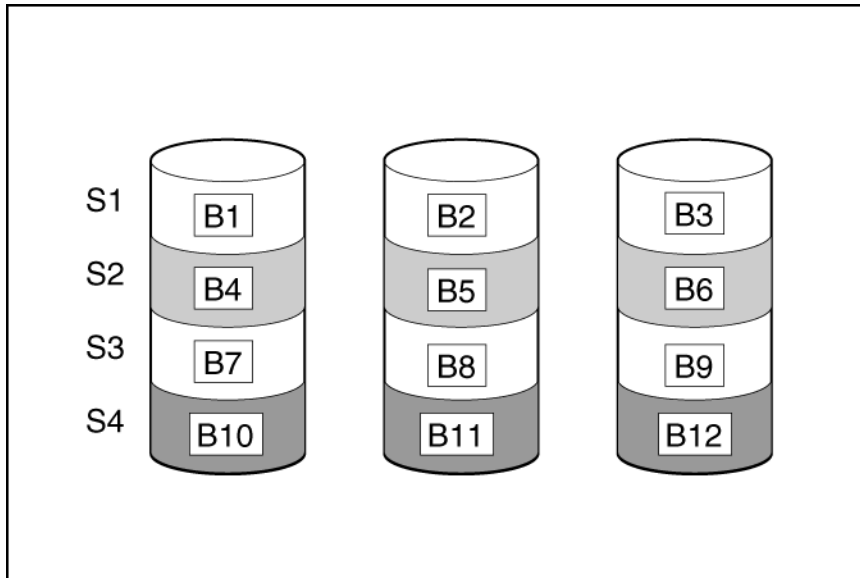
注記: HPE Rapid Setup Software が自動的に RAID アレイを作成できる場合、HPE Rapid Setup Software は自動的に以下を作成します。

- ・ サーバーに 1 台のドライブがある場合は、単一ボリュームのストレージ (RAID 0) を作成します。
- ・ サーバーに 2 台のドライブがある場合は、ミラー化されたアレイ (RAID 0) を作成します。
- ・ サーバーに 3 台のドライブがある場合は、ミラー化されたアレイ (2 台のドライブ) を 1 つ (RAID 1) と、単一ボリューム (1 台のドライブ) のストレージを 1 つ (RAID 0) 作成します。
- ・ サーバーに 4 台のドライブがある場合は、2 つのミラー化されたアレイ (各アレイに 2 台のドライブ。RAID 1 モード) を作成します。
- ・ サーバーに 5 台のドライブがある場合は、ミラー化されたアレイ (2 台のドライブ) を 1 つ (RAID 1) とデータアレイ (残りのドライブ。RAID 5) を作成します。

ドライブが同じ種類、同じ速度、および同じサイズの場合、HPE Rapid Setup Software は自動的に RAID アレイを構成することができます。

RAID 0

RAID 0 構成には、データストライピング機能はありますが、ドライブ障害時にデータの消失を防ぐ機能はありません。ただし、重要度の低いデータを大量に保存する高速ストレージ（たとえば、印刷、画像編集用）で使用する場合、またはコストが最も重要な考慮事項となる場合には役立ちます。



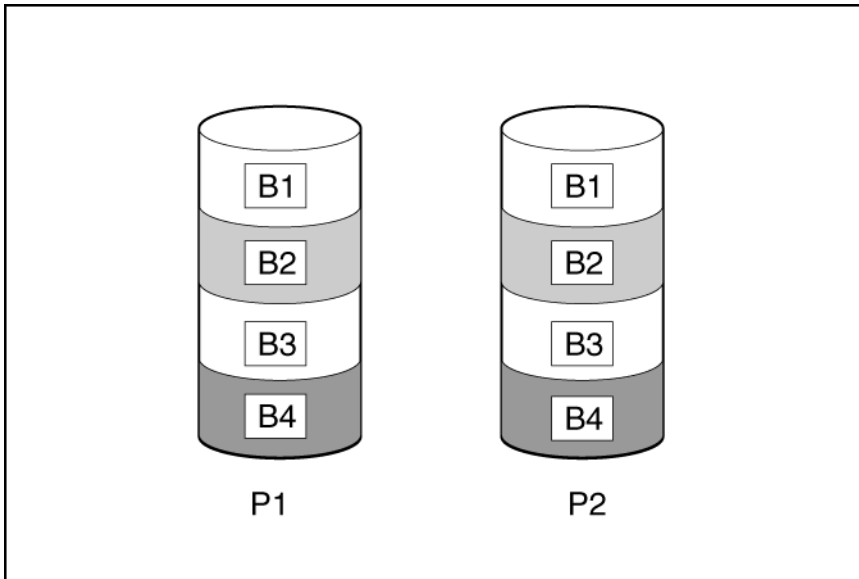
この方法には、以下の利点があります。

- ・ パフォーマンスおよび低コストがデータ保護より重要である場合に役立つ
- ・ どの RAID 機能よりも高い書き込み性能
- ・ どの RAID 機能よりも低い、保存するデータ単位当たりのコスト
- ・ すべてのドライブ容量をデータ保存に使用（フォールトトレランス機能に容量が割り当てられない）

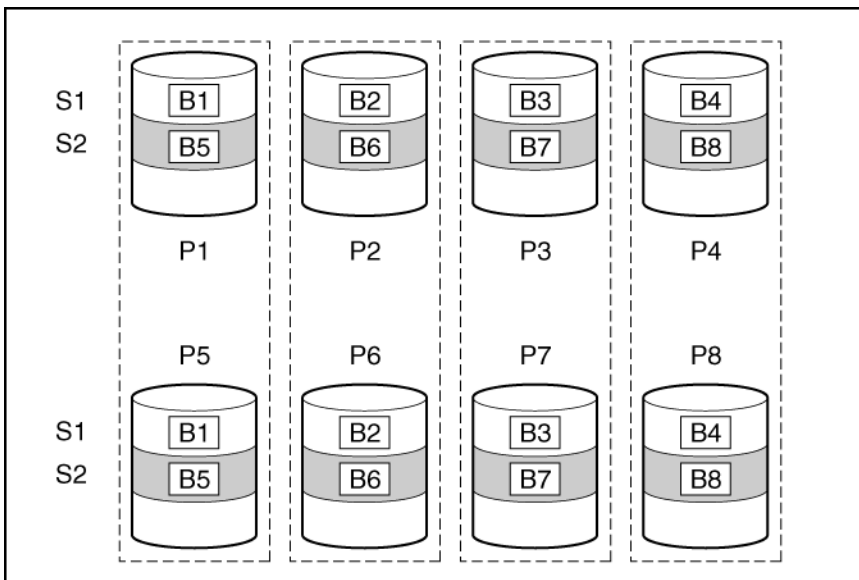
RAID 1 および RAID 1+0 (RAID 10)

RAID 1 および RAID 1+0 (RAID 10) 構成では、データが 2 台目のドライブに複製されます。使用可能な容量は $C \times (n/2)$ です。ここで、 C はアレイ内の n ドライブのドライブ容量です。少なくとも 2 台のドライブが必要です。

アレイにただ 2 台の物理ドライブが含まれる場合、このフォールトトレランス方式を RAID 1 と呼びます。



アレイに3台以上の物理ドライブが含まれ、ドライブが2台1組でミラー化される場合、このフォールトトレランス方式を RAID 1+0 または RAID 10 と呼びます。物理ドライブが故障している場合、ペアでミラーリングされている残りのドライブが必要なデータをすべて提供できます。2台の故障したドライブが同一のミラーリングペアを構成している場合以外は、アレイ内の複数のドライブが故障しても、データが消失することはありません。ドライブの合計数は2ドライブずつ増やす必要があります。



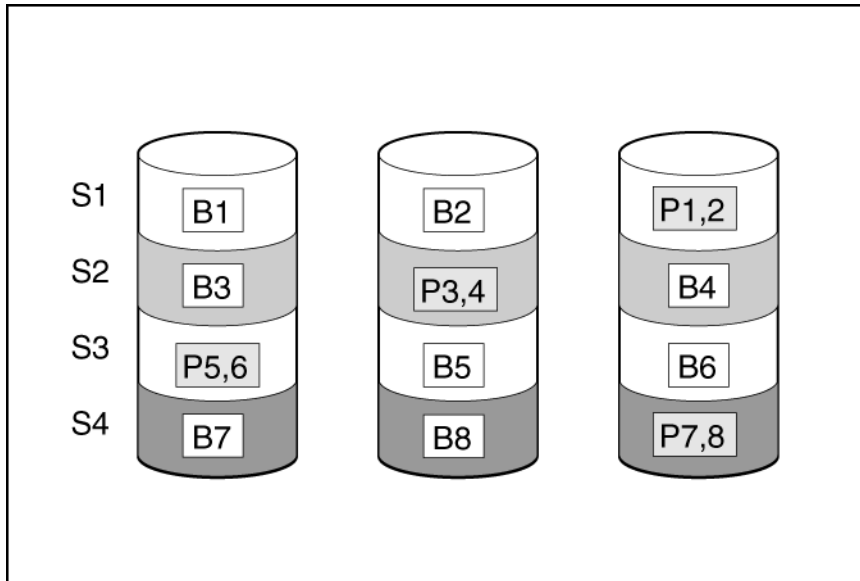
この方法には、以下の利点があります。

- ・ 高パフォーマンスおよびデータ保護が使用可能容量より重要である場合に役立つ
- ・ どのフォールトトレランス構成よりも高い書き込み性能
- ・ 故障したドライブが別の故障したドライブとミラーリングされていない限り、データは失われない
- ・ アレイ内の物理ドライブの半分以上が故障してもデータが消失しない可能性がある

RAID 5

RAID 5では、パリティ（図に Px, y で示されています）を使用してデータを保護します。パリティデータは、ストライプ内の各ドライブからのデータを合計（XOR）することにより計算されます。パリティデー

タのストリップは、論理ドライブ内のすべての物理ドライブに均等に分散されます。物理ドライブが故障すると、故障したドライブのデータは、アレイ内の他のドライブに保存されている残りのパリティデータとユーザーデータから回復できます。使用可能な容量は $C \times (n - 1)$ です。ここで、 C はアレイ内の n ドライブのドライブ容量です。少なくとも 3 台のドライブが必要です。



この方法には、以下の利点があります。

- ・ 使用可能な容量、書き込み性能、およびデータ保護が同じくらい重要である場合に役立つ
- ・ どのフォールトトレランス構成よりも使用可能な容量が大きい
- ・ 物理ドライブが 1 台故障してもデータは失われない

専用スペア

専用スペアドライブは、アレイ内のドライブに障害が発生したときにアクティブになります。

障害スペアのアクティベーション

障害スペアのアクティベーションモードは、アレイ内のメンバードライブが故障した場合に、フォールトトレランス方式でデータを再生成することにより、スペアドライブをアクティブにします。

1 台または複数のオンラインスペアドライブをアレイに割り当てることにより、故障したドライブの交換を延期できます。

メインメニューの使用

RAID 構成オプションの設定後に、HPE Rapid Setup Software のメインメニューが表示されます。この画面では、以下を行うことができます。

- ・ BIOS/RBSU 設定の構成
- ・ RAID 設定の構成
- ・ ハードウェア検証テストの実行
- ・ サーバーを再起動して Intelligent Provisioning に入ることによる、Intelligent Provisioning の起動
- ・ サポートされているオペレーティングシステムのインストール

詳しくは

[Intelligent Provisioning について\(13 ページ\)](#)

オペレーティングシステムのインストール

HPE Rapid Setup Software を使うと、Windows、ClearOS、ClearVM、および VMware のサポートされているバージョンをインストールすることができます。サーバーでサポートされている Linux オペレーティングシステムをインストールする場合は、Intelligent Provisioning を使用してオペレーティングシステムをインストールします。

注記: Smart アレイ S100i ドライバーの場合は、Windows オペレーティングシステムのみインストールできます。

前提条件

サポートされている Windows または VMware オペレーティングシステムをインストールする場合は、メディアをサーバーに接続するか、ファイルがネットワークドライブ上で入手可能であることを確認します。

注記: ClearOS と ClearVM は両方とも HPE Rapid Setup Software の USB キーに含まれているので、別のメディアソースは必要ありません。

手順

1. メインメニューから、インストールするオペレーティングシステムを選択します。
2. オペレーティングシステムのファイルが保存されている場所を選択します。
3. オペレーティングシステムのインストールファイルに移動します。
4. 画面の手順に従います。

詳しくは

[サポートされているオペレーティングシステム\(5 ページ\)](#)

BIOS 構成 (RBSU) ユーティリティを使用する

BIOS 構成ページにより、Intelligent Provisioning のいくつかのシステム構成を変更できます。例えば、以下を更新できます。

- ・ Jitter Smoothing
- ・ Workload Matching
- ・ Core Boosting
- ・ ワークロード プロファイル
- ・ ブート オプション
- ・ ストレージオプション
- ・ ネットワーク オプション
- ・ 仮想化オプション

注記: ロック アイコンが、BIOS オプションの横に表示される場合、そのオプションを変更できません。オプションは、F9 画面に制限されることがあります。または別の設定、例えば、ワークロードのプロファイルを変更する必要があります。

注記: Intelligent Provisioning は、HPE Smart アレイ P824i-p MR Gen10 コントローラーをサポートしません。

手順

1. メンテナンス オプションで **BIOS 構成 (RBSU)** を選択します。BIOS 構成 (RBSU) 画面には、次の情報が表示されます。
 - ・ ROM バージョン
 - ・ 保留中のアップデートが、有効な RBSU 依存関係ルールをフォローするか否か
 - ・ 保留中の変更数
 - ・ 依存関係ルールにより自動的に変更されるアイテム数
 - ・ BIOS をリセットする
 - ・ ワークロード プロファイル
2. このサーバーの BIOS をリセットするには、**BIOS をリセット**をクリックします。
3. ワークロード プロファイルを更新するには、**ワークロード プロファイル**をクリックします。
4. RBSU 構成を変更するには、左側のメニューから選択し、変更する構成を含むセクションを選択します。

RBSU オプションの説明については、UEFI システムユーティリティ ユーザーガイドを参照してください。
5. 変更を保存するには、**更新**をクリックします。
6. メンテナンスを実行のホーム画面に戻るには、**前へ**の左矢印をクリックします。

Intelligent Provisioning について

Intelligent Provisioning は、組み込み済みの、単一サーバーの展開および管理ツールです。**Intelligent Provisioning** では、このブートに限り Intelligent Provisioning ホストオーバーライドオプションを選択できます。このオプションでは、通常のブート順序も、ブートモードの設定も変更されません。詳しくは、

ハードウェア検証ツールについて

ハードウェア検証ツールは、ご使用のシステムで、コンポーネントの検出を実行し、結果を表示します。以下が可能です。

- ・ システムをテストする
- ・ テスト結果を表示する
- ・ テスト結果をエクスポートする

ハードウェア検証ツール(HVT)を使用する

手順

1. ハードウェア検証ツール(HVT)をクリックします。

このツールは、ハードウェア検出を実行します。この検出プロセスには数分かかる場合があります。

2. 検出が完了すると、ツールは、テスト結果を表示します。

3. 次のタブのいずれかを選択します。

- ・ **結果:** コンポーネントのステータスを表示するには、ハードウェア カテゴリを選択します。
- ・ **テスト:** このオプションを選択し、実行するテストを作成できます。
- ・ **エクスポート:** テスト結果をエクスポートします。ネットワーク接続が無い場合は、ファイルを USB キーに保存します。

ソフトウェアおよびファームウェアの更新

オペレーティングシステムのインストール後に、サーバーのファームウェアとソフトウェアを更新します。システムソフトウェアおよびファームウェアを更新するには、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト <http://www.hpe.com/servers/spp/download> から SPP をダウンロードしてください。SPP について詳しくは、<http://www.hpe.com/info/spp/docs> にある製品ドキュメントを参照してください。

SPP には、ClearOS および ClearVM 用のコンポーネントは含まれていません。レポジトリに登録して更新を実行する場合は、Yum や Zypper などの Linux ユーティリティを使用します。詳しくは、HPE Software Delivery Repository のドキュメント (<http://downloads.linux.hpe.com/>) を参照してください。よくあるご質問については、<http://downloads.linux.hpe.com/SDR/faq.html> を参照してください。

Service Pack for ProLiant

SPP は、単一の ISO ファイルのダウンロードとして提供されるシステムソフトウェアおよびファームウェアソリューションです。このソリューションは展開ツールとして SUM を使用し、サポートされる HPE ProLiant、HPE BladeSystem、HPE Synergy、HPE Apollo サーバーおよびインフラストラクチャでテストされています。

SPP は SUM および iSUT と連携して HPE ProLiant、HPE BladeSystem、HPE Synergy、HPE Apollo サーバーおよびインフラストラクチャを体系的に更新する、Smart Update システムメンテナンスツールです。

SPP は、Windows、Linux、または VMware vSphere ESXi でオンラインモードで使用することができ、また、ISO ファイルに格納されたオペレーティングシステムでサーバーを起動することで、オフラインモードで使用できます。

推奨される SPP のダウンロード方法は、www.hpe.com/servers/custom にある SPP カスタムダウンロードを使用することです。

SPP は、<https://www.hpe.com/servers/spp/download> にある SPP ダウンロードページからもダウンロードできます。

SPP のダウンロード

手順

1. Web ブラウザーを開き、http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dl にアクセスしてください。
2. ダウンロードするファイルを選択します。
3. 必要な場合、製品の資格認証情報を提供します。
4. ファイルをシステムのディレクトリに保存します。

SPP へのアクセスは、HPE サポートセンターを介して確認する必要があります。アクティブ保証または HPE のサポート契約は、SPP をダウンロードするために必要とされます。詳しくは、[SPP 保証/サポート契約の確認](#)に関するドキュメントを参照してください。

Smart Update Manager

SUM は、HPE ProLiant、HPE BladeSystem、HPE Synergy、および HPE Apollo サーバー、インフラストラクチャ、および関連オプションのファームウェア、ドライバー、システムソフトウェアの保守と更新を行う革新的ツールです。

SUM は相互依存性の問題を回避するために、同時にアップデートできる関連ノードを特定します。

SUM の主な機能は、次のとおりです。

- ・ ノードに取り付けられているハードウェアや、インストールされているファームウェアおよびソフトウェアのバージョンを検出する検出エンジン。
- ・ SUM は、アップデートを正しい順序で展開します。また、アップデートの展開前にすべての依存関係が満たされていることを確認します。
- ・ 相互依存性チェック。
- ・ 順を追って進む自動のローカルホストガイドアップデートプロセス。
- ・ Web ブラウザーベースのモード。
- ・ カスタムベースラインと ISO を作成する機能。
- ・ iLO レポジトリ用のサポート (Gen10 iLO 5 ノードのみ)。
- ・ 複数のリモートノード用のファームウェアとソフトウェアの同時展開。
- ・ SPP によるローカルのオフラインファームウェア展開。
- ・ すべてのモードでの広範なログ機能。

注記: SUM は、コントローラーに接続されているフラッシュ式ハードディスクドライブを含め、他社製のコントローラーをサポートしません。

Troubleshooting

USB のオペレーティングシステムを読み取れない

症状

USB からオペレーティングシステムをインストールしようとする、Cannot detect media というエラーが表示される。

解決方法 1

原因

オペレーティングシステムの USB キーがサーバーに挿入されていない。

アクション

USB キーをサーバーに挿入します。

解決方法 2

原因

オペレーティングシステムがサポートされていない。

アクション

サポートされるシステムの一覧については、<http://www.hpe.com/servers/ossupport> を参照してください。

解決方法 3

原因

メディアが有効なファイルフォーマットになっていない。

アクション

USB キーがマウントされていること、およびサーバーが USB キーを読み取ることができることを確認します。

Web サイト

全般的な Web サイト

HPE Rapid Setup Software Information Library

<http://www.hpe.com/info/rapidsetupsw-docs>

HPE Rapid Setup Software

<http://www.hpe.com/servers/rss>

HPE iLO ライセンスガイド

<http://www.hpe.com/support/iLOLicenseGuide-en>

HPE iLO に関する情報のページ

<https://www.hpe.com/us/en/servers/integrated-lights-out-ilo.html>

Smart Update Manager

<http://www.hpe.com/servers/sum>

Smart Update Manager Information Library

<http://www.hpe.com/info/sum-docs>

Service Pack for ProLiant

<http://www.hpe.com/jp/spp>

HPE Smart アレイ

<http://www.hpe.com/info/SmartArrayGen10-docs>

Hewlett Packard Enterprise Information Library

<http://www.hpe.com/info/EIL>

Hewlett Packard Enterprise Worldwide へのお問い合わせ

<http://www.hpe.com/assistance>

サブスクリプションサービス/サポートのアラート

<http://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

Software Depot

<http://www.hpe.com/support/softwaredepot>

Customer Self Repair

<http://www.hpe.com/support/selfrepair>

Insight Remote Support

<http://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs>

上記以外の Web サイトについては、[サポートと他のリソース](#)を参照してください。

HPE のサポートと他のリソース

HPE Rapid Setup Software ソフトウェアのサポートまたは USB キーの問題については、[サポートと他のリソース](#)を参照してください。

ClearOS または ClearVM のサポートについては、[ClearOS および ClearVM のサポートと他のリソース](#)を参照してください。

サポートと他のリソース

Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ・ ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide の Web サイトにアクセスします。

<http://www.hpe.com/assistance>

- ・ ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトにアクセスします。

<http://www.hpe.com/support/hpesc>

ご用意いただく情報

- ・ テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- ・ 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- ・ オペレーティングシステム名およびバージョン
- ・ ファームウェアバージョン
- ・ エラーメッセージ
- ・ 製品固有のレポートおよびログ
- ・ アドオン製品またはコンポーネント
- ・ 他社製品またはコンポーネント

アップデートへのアクセス

- ・ 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。ご使用の製品のドキュメントで、ソフトウェアの推奨されるソフトウェアアップデート方法を確認してください。
- ・ 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかにアクセスします。

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター

<http://www.hpe.com/support/hpesc>

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター：ソフトウェアのダウンロード

<http://www.hpe.com/support/downloads>

Software Depot

<http://www.hpe.com/support/softwaredepot>

- ・ eNewsletters およびアラートをサブスクライブするには、以下にアクセスします。

<http://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

- お客様の資格を表示したりアップデートしたり、契約や保証をお客様のプロファイルにリンクしたりするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **More Information on Access to Support Materials** ページにアクセスします。

<http://www.hpe.com/support/AccessToSupportMaterials>

- ❗ **重要:** 一部のアップデートにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアクセスするときに製品資格が必要になる場合があります。関連する資格を使って HPE パスポートをセットアップしておく必要があります。

カスタマーセルフリペア (CSR)

Hewlett Packard Enterprise カスタマーセルフリペア (CSR) プログラムでは、ご使用の製品をお客様ご自身で修理することができます。CSR 部品を交換する必要がある場合、お客様のご都合のよいときに交換できるよう直接配送されます。一部の部品は CSR の対象になりません。Hewlett Packard Enterprise もしくはその正規保守代理店が、CSR によって修理可能かどうかを判断します。

リモートサポート (HPE 通報サービス)

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

ご使用の製品にリモートサポートの追加詳細情報が含まれる場合は、検索を使用してその情報を見つけてください。

リモートサポートおよびプロアクティブケア情報

HPE 通報サービス

<http://www.hpe.com/jp/hpalert>

HPE プロアクティブケアサービス

<http://www.hpe.com/services/proactivecare-ja>

HPE プロアクティブケアサービス: サポートされている製品のリスト

<http://www.hpe.com/services/proactivecaresupportedproducts>

HPE プロアクティブケアアドバンスドサービス: サポートされている製品のリスト

<http://www.hpe.com/services/proactivecareadvancedsupportedproducts>

保証情報

ご使用の製品の保証に関する情報を表示するには、以下のリンクを参照してください。

HPE ProLiant と IA-32 サーバーおよびオプション

<http://www.hpe.com/support/ProLiantServers-Warranties>

HPE Enterprise および Cloudline サーバー

<http://www.hpe.com/support/EnterpriseServers-Warranties>

HPE ストレージ製品

<http://www.hpe.com/support/Storage-Warranties>

HPE ネットワーク製品

<http://www.hpe.com/support/Networking-Warranties>

規定に関する情報

安全、環境、および規定に関する情報については、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照してください。

<http://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

規定に関する追加情報

Hewlett Packard Enterprise は、REACH（欧州議会と欧州理事会の規則 EC No 1907/2006）のような法的な要求事項に準拠する必要に応じて、弊社製品の含有化学物質に関する情報をお客様に提供することに全力で取り組んでいます。この製品の含有化学物質情報レポートは、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/reach>

RoHS、REACH を含む Hewlett Packard Enterprise 製品の環境と安全に関する情報と準拠のデータについては、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/ecodata>

社内プログラム、製品のリサイクル、エネルギー効率などの Hewlett Packard Enterprise の環境に関する情報については、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/environment>

ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当 (docsfeedback@hpe.com) へお寄せください。この電子メールには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。

ClearOS および ClearVM のサポートと他のリソース

ClearCARE テクニカルサポート

ClearOS および ClearVM のサポートは、Hewlett Packard Enterprise によって提供されていません。ClearOS および ClearVM のサポートは、ClearCenter が販売、提供しています。ClearCenter にサポートチケットを送信するか、Bronze、Silver、Gold、Platinum ClearCARE サブスクリプションを購入することで、1 回分のサポートインシデントを購入できます。詳しくは、ClearOS の Web サイトをご覧ください。

<https://www.clearos.com/>

ライセンスされたユーザーは、さまざまなレベルのプロフェッショナルテクニカルサポートをご利用できます。詳細については、ClearCARE サポートの Web サイトをご覧ください。

<https://www.clearos.com/products/support/clearcare-overview>

ClearCenter 連絡先情報



北米

電話: + 1.800.977.0574

メール: sales@clearcenter.com

海外

電話: + 1.801.851.5555

メール: sales@clearcenter.com

ClearOS コミュニティフォーラム

ClearOS は、活発なコミュニティによる積極的な関与によって急成長しています。コミュニティのメンバーはお互いにセットアップ、開発、トラブルシューティングのヘルプを行うことで、ClearOS のハードルを下げています。あなたのコミュニティへの参加をお待ちしています。

The screenshot displays the ClearOS Community Forum interface. At the top, there is a navigation menu with icons for 'COMMUNITY', 'PRODUCTS', 'RESOURCES', and 'LOGINS'. Below this is a dark header with 'COMMUNITY FORUM' and search buttons labeled 'SEARCH SITE', 'TRY IT →', and 'BUY IT →'. A search bar with the placeholder 'Looking for something?' and a 'Search' button is present, along with a 'or Ask a Question' link. A 'Find a Question' button is also visible. Below the search bar, there are filters for 'Unsolved: 94', 'Resolved: 1218', and 'Unanswered: 111'. The main content area shows a list of forum posts. Each post includes a user profile picture, the post title, the author's name, the post content, and statistics for replies, views, votes, and likes. The posts are as follows:

- LDAP connection refused**: Posted by Andreja Djokovic in Directory / LDAP. 6 replies, 68 views, 0 votes, 0 likes.
- Re: Issues behind clearos (how do I stop SCORE5 checking)**: Posted by Cambarata in Firewall. 1 reply, 28 views, 0 votes, 0 likes.
- Rules Forward to L2TP/IPsec VPN server (MS)**: Posted by Sean Jungmann in Firewall. 1 reply, 36 views, 0 votes, 0 likes.
- issues behind clearos**: Posted by mshah in Firewall. 22 replies, 3896 views, 0 votes, 0 likes. Status: RESOLVED.
- Struggles with samba1 member server, ClearOS PDC**: Posted by Mike Edwards in Windows Networking (Samba). 0 replies, 28 views, 0 votes, 0 likes.
- Syswatch issues with ping fail**: Posted by Michael Rodriguez in InnoDB. 20 replies, 779 views, 0 votes, 0 likes.

ClearOS ドキュメントの web サイト

オンライン ユーザーガイドおよびハウトゥードキュメント、コミュニティサイト、フォーラム、テクニカルサポート、検索エンジン情報については、以下を参照してください。

- ・ <https://www.clearos.com/resources/documentation/documentation-overview>
- ・ <http://www.hpe.com/info/ClearOS-docs-en>